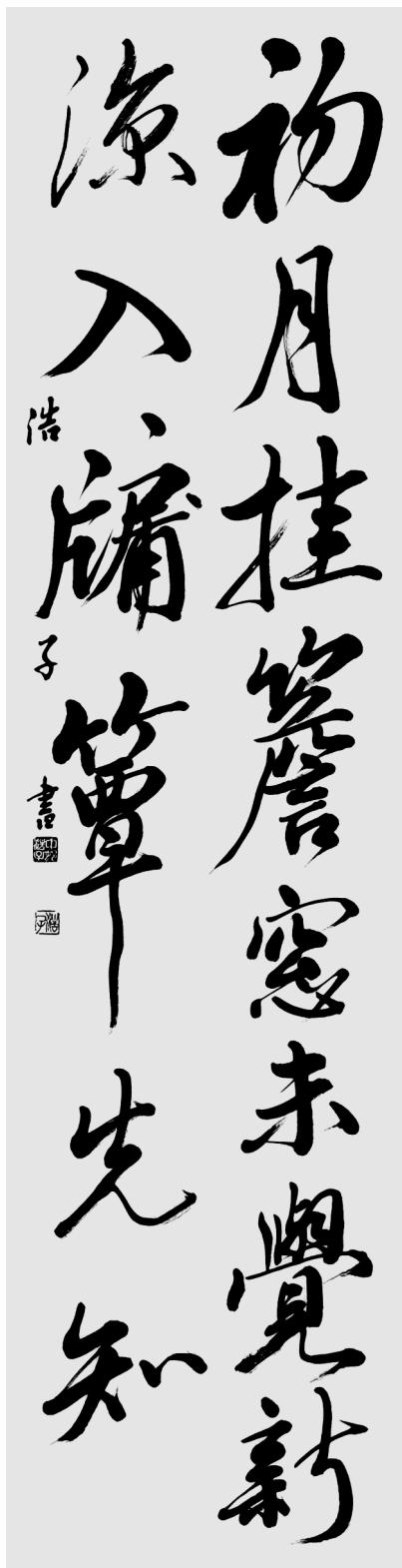
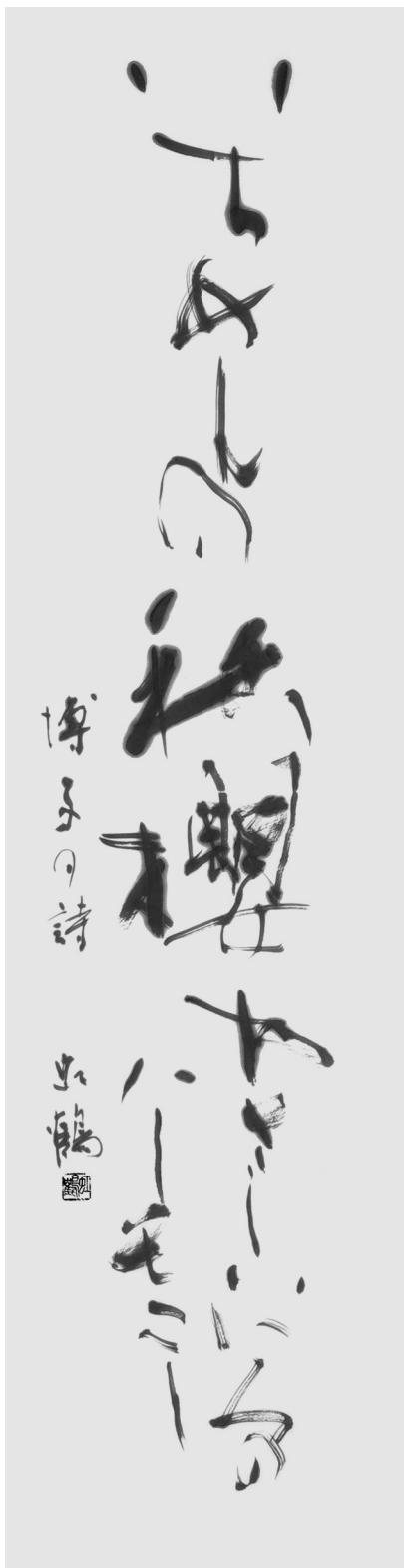


## 一般部毛筆最優秀作品

(10月末日締切分)

(吉田成美先生評)



### 条幅隨意(臨書)

師範正 安仲 夕蟬

**師範正**  
上部が大きく、下部のつまりが気になるも、筆脈・気脈、行の響き合いなどを意識し、骨力に満ちた線で、氣概さえ感じる作品。この調子で自己の研鑽を積み精進してほしい。

秋櫻を主役に置き、上部の仮名と下部の二行をバランスよく配置し、詩情からくる優しさを淡墨で表現。確かな技術と感性の豊かさは申し分ないが、これ以上の作為には注意を。

師範正 宮本 虹鶴

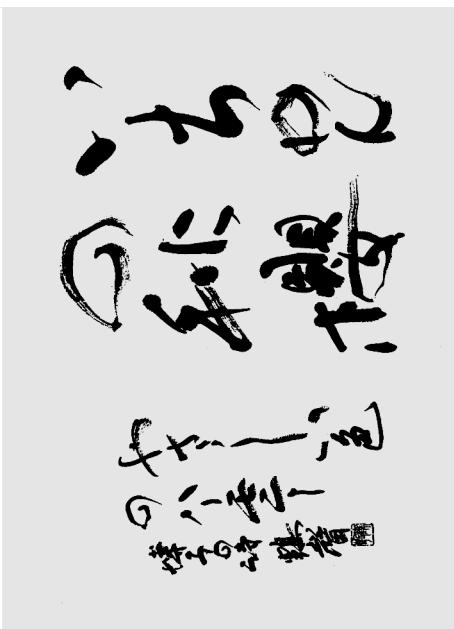
# 一般部毛筆最優秀作品

(10月末日締切分)

半折  
1/2 横

師範正 楠森さとみ

一点一画を慎重に、バランスよく作品造りの妙を心得ている。古典から線を、字典から形を学びながら、模索と挑戦を繰返し、自分の作風を目指そう。落款も自信を持って書こう。



半紙隨意(臨書)  
成家 松原 華月

や、硬さもあるが、浮沈の効いた筆捌きで、一気呵成に書き進んだ躍動した線が、作品に生命感を与えていて、日々の研鑽が花開く。

半紙隨意  
五段 鈴木 鶴聲

前半二行は、筆に任せ、何も街うことなく、余白と線が調和して、艷麗な美を醸し出している。後半は、感動が停止したようだ。残念。

リズムに乗つて結体よく書かれてはいるが、速書きなのか、線に深味や抑揚不足。日々の鍛錬が良い作品を生む。日展初入選おめでとう。

半紙規定  
師範正 志岐 陽華

# 学生部毛筆最優秀作品

(10月末日締切分)

(坂元紫香先生評)



## 学生部条幅 (1)

中二 六段 古館 和奈

漢字と平仮名のバランスの良い  
明るい作品です。さらに「上」を  
目指して一枚でも多く書くと伸び  
びやかさが増すと思います。今  
後、さらに期待します。

はなこ

井上 こまき

宮崎 日香梨

木村 瑛菜

小二 4級  
き本の筆づかい  
がしつかりとで  
きた、りっぱな  
作品です。日ご  
ろの練習のせい  
かだと思ひます。  
名前もともじ  
ょうです。

小三 5級  
明るくすつきり  
とした線にて  
も魅力を感じる  
作品です。紙い  
っぱいに元気よ  
く書けていて、  
おけいこの楽し  
みが伝わります。

小四 準初段  
お手本をよく観  
察して、名前ま  
で気をぬかずに  
しっかりと書け  
ています。日頃  
の熱心な練習の  
成果ですね。今  
後に期待大!

小四 3級  
半紙いっぱいに  
日香梨さんの元  
気があふれた伸  
びやかな作品で  
す。「段」を目指  
して、一枚でも  
多く練習をがん  
ばってください。

小五 準六段  
気のこもった線  
で、バランスの良  
い明るい作品で  
す。さすが上位  
有段者の作品。

阿部 友梨花  
さん

小五 四段  
「紙」の最後のハ  
ネは少し惜し  
いのですが、伸  
びやかな線にと  
ても魅力を感じ  
る作品です。今

河原花菜子

ます。全体のバ  
ランスも良くさ  
ります。最後のハ  
ネが楽しみです。

小四 3級  
平仮名と漢字の  
バランスの良い  
とても明るい作  
品です。名前ま  
で気をぬかずに  
書けています。  
日頃の練習の成  
果だと思います。

小五 準六段  
さすが「特待生」  
の作品です。中  
学一年生で行書  
のリズムをしつ  
かりと習得し、  
名前までの完成  
度は見事です。大  
人顔負けの作

品です。金沖 妃菜  
中二・三特待生  
さん

小六 準六段  
平仮名と漢字の  
バランスの良い  
とても明るい作  
品です。名前ま  
で気をぬかずに  
書けています。  
日頃の練習の成  
果だと思います。

小一 8級  
むずかしいかだ  
いでしたが、お  
てほんをよく見  
て、ていねいに  
かたちよくかけ  
ています。この  
ちょうどでがん  
ばつてね!

清田 美羽  
中一 特待生  
さん

河原花菜子

# 硬筆部最優秀作品

(10月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

共通語の普及により、異なる地域の人々が円滑に交流できるようになつた。いっぽう、地域に深く根を下ろし、その土地の文化や風土をこまやかに映し出すのが方言である。

第二の、おそろしい敵が近づいたのを感じると、残りの力をふりしぼって、ぐと長い首を持ち上げました。そして、じいさんを正面からにらみつけました。

明るい光が顔に当たって目がさめました。ちいちゃんは暑いような寒いような気がしました。

段 級						
氏 名	ふ じ と ゆ す	ん て い き ま し た	き い つ ぱ い	な か は い す す	の う か を げ ん	く じ ら は 、 青 い 空

書譜

朝起めゆきり涼しくなりました。度々の不便に心配事も羨みあげず、心苦しく思つております。母の入院やら引越しなども、片付けてほつとおこなひます。年末始めてお休みには帰省せらうとのこと、お食事などかと思ふと今から胸がわくわくします。うーん。

自分の作品が理解されないこと  
へ、けん治は傷ついた。次に出すつ  
もりで準備を整えていた詩集も、  
出すのをやめた。農業に対する考  
え方にも、変化が起きていた。

四年 小山 心優  
四年生は火なれじゅうをば  
べりと取り落としました。  
育いけたりがまだつて口  
から細く出ていました。

氏名	う い い と 思 う な	つ こ ま つ て み た	る の を も う ち	き み 、 お 手 紙 が
梶原千聖				

時間は時代とともに流れ、時間は流れること。  
人間は時代とともに進化し、人間は進化すること。  
繩文時代に比べて、時間は四千倍も速い。  
これが現代人のストレスの原因だ。

共通語の普及により、異なる地域の人々が円滑に交流できるようになつた。いっぽう、地域に深く根を下ろし、その土地の文化や風土をこまやかに映し出すのが方言である。

兵十は火なわじゅうをば  
たりと取り落としました。  
青いけむりがまだつづく  
から細く出ていました。

明るい光が顔に当たつて目がさめました。ちいちゃんは暑いような寒いような気がしました。

**中学 準六段** 服部 怜奈

小五 準四段 阿部 柚希

小三 ふじ崎涼太 6級

ふしとりす  
小一 8級

一般 師範道 権橋 篤子  
自己の自然なり  
ズムとベン捌き  
が上手く調和し  
流れの良い白眉  
の作です。今後  
は、抑揚・緩急を  
を加味した作を  
期待します。

小六 準四段 山田 真央  
お手本の觀察力が見事です。書き始めから名前まで気を抜かず、とても安定感のある作品です。さらに頑張ってくださいね。

小山 心優  
小四 準六段

小二 準4級 横原 千聖

一般 師範正明  
阪井 浩子

中学 龍香 準特待生

藤原 沙矢  
小四 二段

二三行目の下の方がつまつたのは、おしいのですが、ペンを上手に使って元気よく書いています。名前もよく練習ができます。